



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
担当者の所属・氏名
乳腺外科 竹原 侑里

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 竹原 侑里

複数回の化学療法を必要とした異時性乳がんの 予後や副作用に関する研究

1.研究の対象

2005年1月～2022年3月に異時性乳がんの診断となり、当院で治療を受けられた方

2.研究の目的・方法

一度乳がん治療を受けた後に、異なるタイミングで新たな乳癌を発症した場合、異時性乳癌と呼ばれます。初回乳がん（一次がん）治療後に新たな乳がん（二次がん）を発症する方は本邦で約3%と報告されます。その中で、一次がん、二次がんのいずれにも化学療法が必要となる場合、副作用（心機能低下など）の観点から2回目以降の化学療法における薬剤選択に影響が出る可能性があります。しかしながら、複数回の化学療法が必要となる乳がんの頻度は少なく、頻度や予後、副作用のデータをまとめた研究はありません。

今回、当院において複数回の化学療法を必要とした乳がんについて調査することで、その安全性や予後のデータを確認し、より適切な治療選択に寄与することを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、併存疾患、手術の術式、抗がん剤治療・内分泌療法・放射線治療などの治療歴、副作用等の発生状況、再発の有無、カルテ番号 等

